

『ガラスの動物園』

テネシー・ウィリアムズ [著]；小田島雄志訳
新潮社 2011年 ISBN:9784102109076

購入手続き中

『テネシー・ウィリアムズ戯曲選集』にも、
収録されています。
(西館3階書庫、請求記号 932 // W74 // 1)

私のすすめるこの1冊

森 孝宏 (保健管理センター 教授)

『ガラスの動物園』

テネシー・ウィリアムズ [著]；小田島雄志訳

学生の皆さんに何をすすめるか悩みました。教員になるためにおすすめな心理学分野で「ヒルガードの心理学」や「図説・臨床精神分析学」にしたほうがよいのか。個人的に大きな影響を受けた小説の、加賀乙彦「フランドルの冬」や篠木蓬生「白い夏の墓標」などのフランス留学もどき作品や、好きな作家のジュリアン・グリーン、ジョルジュ・ベルナノス、テネシー・ウィリアムズの作品などにしようか、なかなか決められませんでした。

大学2回生の演劇研究部の市音楽文化会館ホール(400席ぐらい)定期公演で、初めての助演出担になり1冊目が黄色い表紙だけでなく中もボロボロになり使えないので、2冊目を買った新潮文庫版「ガラスの動物園」がまた手元にあります。もちろん原文でも読みました。その後、3回生で部長になりオリジナルの脚本・演出をしていく契機になりました。

思春期青年期の心理を語る3大戯曲は、テネシー・ウィリアムズ「ガラスの動物園」のローラ、チャーホフ「かもめ」のニーナ、ジャン・ジロドゥ「オンディヌ」のオンディヌというヒロインであると同時に思っており、どれも内容は充実していて公共ホール上演で恥ずかしくない脚本なのですが、そのうち登場人物が4人だけですし費用面からも大学演劇研究部が手の出せる規模におさまるのは「ガラスの動物園」しかないのです。満席公演日に見に来てくれたアメリカ演劇専攻の大学教員からもお世辞だったかもしれないが当日劇団員全員がほめてもらうことができました。自慢のブラボーな思い出です。

将来教員になる皆さんにとって、ローラを担任としてどのように指導したらよいですか？ローラみたいなおとなしい引っ込み思案(今の言葉では発達障害傾向でしょうか)の引きこもり登校渋りへの対策に思いも広がります。あらすじを書いてしまうと面白くありませんね、やめます。

私は、この本をきっかけに思春期心性に興味を持ち、部活動に並行して、いのちの電話の電話相談員に応募し、現実のリストカットシオーダーズする地域にぎりぎり生きている「ローラ」達のいのちの悲鳴を聞いて電話越しに支援するボランティアにハマり込んでいくことになりました。町にはガラスの「ローラ」をはるかに超える人たちが、いのちの瀬戸際でこんなにもがいているのだという現実を思い知らされることになりました。これが、心療内科(心理療法内科)を専門とすることに至り、フランスへ精神分析学の勉強に留学することにつながり、臨床心理士の免許を取ることに至り、以前の総合教育センターでの仕事や、今の保健管理センターで皆さん大学生と関わり支援すること、大学院教育学研究科で臨床心理士を育てることにつながって現在に至っています。

皆さんもぜひ学部生のうちに、一生を左右するような良書に出会ってください。貴重な機会を出会いを見逃さないでください。学部生を過ぎると、専門以外の本を読む時間が激減します。今が最後のチャンスです。そんなに自由な時間はもう残されていません。

図書館からのお知らせ

夏期休暇に伴う長期貸出について

下記のとおり長期貸出を行いますので、どうぞご利用ください。

対象者	院生・教職員	学部生
貸出冊数	12冊	7冊
貸出期間	7月8日(火)～9月4日(木)	7月22日(火)～9月18日(木)
返却期限日	平成26年10月3日(金) ※前期で卒業・修了予定の方は平成26年9月10日(水)となります。	

※ 視聴覚資料を除く

※ 長期貸出図書については、返却期限日の延長はできません。一度返却してから、翌日以降貸出の手続きをとってください。

※ 一般利用者・卒業生を除く

リクエストウィークの展示を行います

5月14日(水)～27日(火)にかけて募集した特別リクエストウィークで購入した図書を、下記のとおり展示いたします。リクエストした本人以外も借りることができますので、ぜひ気軽に見に来てください。

期間：7月下旬開始予定 ※図書の納品状況等により、期間は変更となる場合があります。

場所：西館2階エレベーター前

終了しました

第3回 写真展 小さな花と実 土倉亮一（本学名誉教授）

2014年5月27日(火)～6月30日(月)にかけて、開催しました。第3回目となりましたが、今回も多くの方々にお越しいただきました。

初めての方、リピーターの方、皆さん初めて見る花や実を楽しまれました。今回は、写真と合わせて水彩画の展示もしました(写真)。

今後の展示もいろいろと企画中です。お楽しみに!!



職場体験終了報告

6月10日(火)～13日(金)にかけて、京都市立大淀中学校より職場体験実習の生徒を2名受け入れました。

カウンターでの貸出・返却業務の他、図書の受入やラベル装備、他大学からの文献複写の受付処理など、普段は目にする機会のない図書館業務についても体験してもらいました。また、カウンター横に軽読書の紹介コーナーを設置し(写真)、図書の選定から紹介文の作成、レイアウトまで、自分たちで考えて作りました。

7月2日(水)から4日(金)にかけては、附属桃山中学校の職場体験実習の受入(2名)を行いますので、みなさまご協力お願いいたします。



紹介コーナーです。ぜひご覧ください。

平成 25 年度利用統計

1. 入館人数

	学部生	院生	教職員	学外者	合計
総人数	45,231 人	10,368 人	2,967 人	3,131 人	61,697 人
H24 年度	32,481 人	7,233 人	1,706 人	2,026 人	43,446 人

2. 貸出統計貸出人員

	学部生	院生	教職員	学外者	その他	合計
貸出冊数	12,773 冊	6,453 冊	2,100 冊	1,087 冊	137 冊	22,550 冊
貸出人数	8,031 人	3,400 人	1,146 人	593 人	117 人	13,287 人
H24 年度(冊数)	11,985 冊	6,356 冊	2,498 冊	640 冊	110 冊	21,479 冊

3. 文献複写 相互貸借

	文献複写				相互貸借	
	依頼		受付		依頼	受付
国内	729件	4,517枚	446件	2,814枚	57冊	133冊
国外	0件	0枚	9件	70枚		
H24年度(国内)	734件	4,708枚	331件	2,656枚	89冊	55冊

平成 25(2013)年度の年間貸出冊数は、22,550 冊でした。今年度もたくさん本を借りてくださいね！

教育資料館 まなびの森ミュージアム

本学の教育資料館 まなびの森ミュージアムは「京都・大学ミュージアム連携」に所属しています。

学生・院生は、所属ミュージアムの入場が無料となる場合があります。(学生証の提示が必要です。) どんどん活用してくださいね！

詳細は「京都・大学ミュージアム連携」HP を。
<http://univ-museum-kyoto.com/inquiry/>

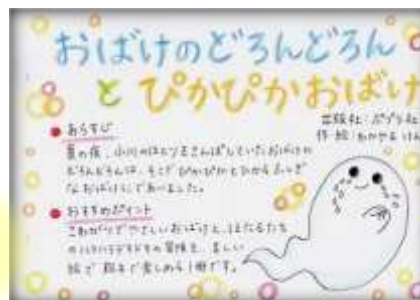
えほんのもり

今月の読み聞かせ会は、
7月28日(月) 15:00～ です。

『おばけのどろんどろんとぴかぴかおばけ』
わかやま けん 作・絵

★おすすめポイント★

こわがりでやさしいおばけと、ほたるたちのハラハラドキドキの冒険を、美しい絵で、親子で楽しめる1冊です。



今月の
絵本カードは
こちら！

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。
このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

今回の執筆者 **相澤 伸幸** (教育学科 准教授)

「A Study on the Values of Japanese Junior and Senior High School Students in Comparison with the Values of German Students

(ドイツの生徒との比較による日本の中高生の価値観についての一考察)」

相澤伸幸&ローター・クルド

京都教育大学紀要. 2014, No.124, pp.127-136

本学の教育研究改革・改善プロジェクト「グローバル時代の学校教員に必要な資質能力に関する学際的研究」として、ドイツ・ヴァインガルテン教育大学 (Pädagogischen Hochschule Weingarten) の6名の教員および研究者とともに、本学の7名の教員が共同研究を平成22年度から25年度まで行ってきた。そのプロジェクトにおいて相澤はL・クルド教授とペアを組み、日独の青少年の価値観についての比較研究を行った。そしてその成果発表の一つとして、平成25年3月4日に国際シンポジウム“The Symposium on the Topics of Education in Germany and Japan”をドイツ側の共同研究者2名を招聘して本学で開催し、そこでの発表内容をまとめたのがこの論文である。

日独の共同研究なので、共通の質問票を作成してそれぞれアンケート調査した。日本では高校生2年生と中学生2年生に対して調査を行い、その結果の分析を通して、日本の中高生がどのような価値観の傾向を持っているのか、ドイツでの調査結果を適宜参考にしつつ主として日本での価値観の傾向についてまとめたものが本論文である。

具体的な数値などは本論文を直接参照していただくこととして、先行研究との相違を述べたい。もちろん、本調査より大規模なものは存在するのだが、それらの多くは中高生たちの現状での価値観に注目している場合が多い。しかし本調査では、小規模ではあるが、現状だけでなく、中高生たちが思い描く近い将来における価値観を探るため、身近な大人の立場に依拠しての価値観もあわせて調査している。このことで、自分の状況をより客観視することができると考えた。同時に、様々な価値観の満足度や宗教観や自分の性格やくつろぎを感じる場所などを問い、その数値をドイツの数値と比較することで、われわれにとっては当たり前なこととして見えにくい日本の中高生の価値観についての最近の傾向を示すことができた。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要124号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開予定です。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2014年7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

7/2 館内整理日

7/29-8/4 前期末試験

2014年8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8/5-9/30 夏季休業

8/13-8/15 夏季一斉休業

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>

QRコード →



京教図書館 News No.166 (2014年7月号)

発行日:平成26年7月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp